

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市バス専用駐車場
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市中央2丁目6-1 名称 倉敷観光コンベンションビューロー・クラレテクノ共同事業体 代表者 公益社団法人 倉敷観光コンベンションビューロー 会長 小林 清彦
(3) 公の施設の所管部署	文化産業局文化観光部観光課
(4) 評価対象期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	今年度は、①利用者の安全管理、②防災体制に重点を置いて評価を行った。	総合評価
	<p>【①利用者の安全管理】 バスの入出庫時における駐車場内での安全確認のほか、駐車場外でのバスの誘導や周辺の歩行者への安全確保が適切に行われている。 また、定期的に研修を受講し、安全管理についての知識や技術を身につけ、職員のスキル向上に努めている。</p> <p>【②防災体制】 計画的に防災研修や避難訓練を実施し、有事の際に迅速かつ的確に対応できるよう備えている。 また、災害発生時には、避難場所としての活用や食料や土嚢等物資の保管場所としての受け入れができるよう協力体制を整えるとともに、本市との情報共有ができており、防災体制に対する意識の高さがうかがえる。</p> <p>【総括】 適切な管理運営を行うとともに、観光パンフレットの設置・配布を行うなど、観光情報の提供や対応も実施している。</p>	S

	アンケート調査における「全体の満足度」も、97%の利用者が満足（満足・ほぼ満足）と評価するなど、高い評価が得られており、優れた管理運営を行っていると判断し、総合評価をSとした。	
(2) 指定管理者の自己評価	<p>観光バスの利用者，また駐車場前の市道の一般歩行者の安全，安心を最優先に考えると同時に，警備業務，トイレ等場内設備の清掃・修繕等を適切に行い，快適な御利用をいただきました。</p> <p>また，料金所において，観光マップ等を設置配布，また関連の問い合わせに対して適切な対応をするなど，着地観光のおもてなしに努めました。</p> <p>さらに周辺の宿泊施設を利用するバスに対しての夜間等時間外入庫の利便を図るための時間外対応，さらに満車時には当団体の持つネットワークを活かし他民間団体等の助力を得ながら，駐車できないバスの回送を行うなど，利用者の利便確保，周辺交通の渋滞緩和などに配慮した運営をしました。</p> <p>平成30年度の西日本豪雨災害を受け，地震やその他の緊急事態の発生があった場合は，現場と管理者が迅速に対応する体制の確保，避難場所として提供できる体制を採っています。</p> <p>また最も重要であると考えております利用者の安全確保に努め事故・怪我の発生も皆無であったことから，適切な管理運営ができたものと考えます。</p>	
(3) アンケート結果の概要	管理運営についての全ての項目で，93%以上の満足度（満足・ほぼ満足）が得られている。特に「安全対策」については96%，「全体の満足度」については97%と非常に高い評価が得られており，利用者の満足度の高さが確認できる。	

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	<p>バス専用駐車場駐車台数</p> <table> <tr> <td>令和元年度</td> <td>平成30年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9,453台</td> <td>10,445台</td> <td>(前年度比90%)</td> </tr> </table>	令和元年度	平成30年度		9,453台	10,445台	(前年度比90%)
令和元年度	平成30年度						
9,453台	10,445台	(前年度比90%)					
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バス駐車場料金の徴収 ・安全確保のための警備の実施 ・飲料水自動販売機の設置等 						

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	16,048千円
	利用料金	14,396千円
	自動販売機収入	1,643千円
	自主事業収入	9千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	14,815千円
	主な支出	人件費 600千円
		委託費 12,854千円 (ごみ収集, 清掃, 警備費用等)
		修繕料 5千円
		消耗品費 257千円
		光熱水料費 944千円
		その他経費 155千円